



2022年度 宇城市パートナーシップ・フェスティバル

「あなたらしく 私らしく 個性きらめく 未来へ」
～男女共同参画都市宣言から15年～

性別にとらわれず、自分の能力を生かせる社会の実現を一緒に考えてみませんか。あなたの身の回りでも役立つ考え方を学びましょう。

今回は、個々を認め合い、平等な立場で家庭や職場、学校、地域などあらゆる場面に参画できるまちづくりを目指した「男女共同参画都市宣言」から15年の記念事業として開催します。

日時 1月14日(土) 13時～14時30分 (12時開場)

場所 ラポート 文化ホール

※無料託児サービスあり

(1月10日(水)までに要予約)

※手話通訳あり

パートナーシップ・フェスティバル 記念講演

「人が会社を創る」から未来を創る
～女性社長の挑戦～

開演 13時30分～

講師

理化電子(株)代表取締役社長

戸田 泰子 さん



プロフィール

27歳で理化電子(株)代表取締役社長に就任。Forbes Women Award 2016で「革新」をもたらすリーダー賞を受賞。「人の輪が幸せの『和』になる。社員一人一人が力を最大限に発揮できる職場環境をつくることで、世の中の役に立つ技術を提供する」という信念のもと、さまざまな社内改革を行っている。

※新型コロナウイルスの拡大状況により、オンライン開催となる場合があります。

みんなで学ぼうじんけん

生涯学習課 ☎32-1934



本田博通地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします



やさしい日本語教室

「日本語は今どうですか」との先生の問いに「ちょっと」と女性指を小さく開く動作。「少し…、少し、はな…?」「…はな…」と、少しくずす。少し日本語を話せます、じゃあどうですか、日本語の漢字?」「ぜんぜん…」「ボニーテールが左右に揺れます。」「となると、漢字を…?」「…かけません」と後ろから男性の声。「そうですね。日本語の漢字を、書けません」。

ここは、菊池市中央図書館が主催する「にほんご教室」。この日の受講者は11人。先の2人はベトナム人。他にもカンボジア、タイ、韓国、フィリピンと多彩。仕事も農業、介護、製造業とさまざまです。

今日の勉強は「できる・できない」と「…だったら」。『やさしい日本語』を使って指導をされているのは福岡在住の大学の先生。『やさしい日本語』とは、高い学力がなくても、日本語に親しみ、気軽に使えるようにと作られた教材です。農家でサトイモとエゴマを作っているという女性は「雨が降ったら、どうし

ますか」の先生の問いに、「やすみ…あめがふったら…やすみ」の答え。みんな笑いながら、先生の「雨が降ったら、休みます」の文を復唱します。日本語を自分の生活や仕事と結び付け学んでいます。とても楽しそう。

教室のスタッフに話を聞きました。アンケートの「困っていること」上位は、「日本の文化や習慣の違い、言葉が通じないこと」。「助けてほしいこと」は「地震や火事の時の知らせ、日本人と仲良くなる行事、日本人の相談相手」。公共サービスを等しく提供する図書館が、市民である外国人のそんな願いに応えるのは当たり前との説明。

「ここは色々な文化を知り、国籍を超えたつながりを教えてくれる大切な場。たまたま菊池に来たという外国人にも第2のふるさとと感じてもらい、またいつか、ここに家族を連れて帰ってきてほしい」。ボランティアをした人の言葉です。

宇城市に住む外国人も増加を続け、2021年時点では約600人。今まで無関心でいた自分を振り返ります。私にも何かできることがあります。



不用品回収サービスのトラブル 許可を受けず回収を行う事業者に注意

事例 「安価な定額パックのはずが、作業後に高額な料金を請求された」「トラック詰め放題プランのはずが、当日に荷台の囲いの高さまでと言われた」など、消費者が広告を見て認識していたプラン内容と、実際の料金やサービスが大きく異なるトラブルが増えています。

消費者へのアドバイス

- 不用品の処分は、市の許可を得た一般廃棄物収集運搬許可業者に依頼しましょう。詳しくは、市衛生環境課(☎32-1598)までお問い合わせください。
- 事前の見積もりとは異なる高額な料金を請求された場合は、支払いを断りましょう。

相談は 宇城市消費生活センター ☎33-8277 へ

郷の記憶をたどる

文化スポーツ課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します



郷土資料館



開館時間 10時～17時

休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)

住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102

波多神社 拝殿と神殿の彫刻



神殿東側壁面の見事な彫刻

地区民から代々、「農耕文武の神」として崇められている菅原道真公を祭神とする三角町の波多神社。神社拝殿と神殿の彫刻は、技術の高さ・量とにも見事な出来栄で、後世に残す価値のあるものとして、平成15年、市(当時は三角町)の有形文化財に指定されました。



波多神社は、1860(万延元)年に、三角町出身で宮大工の榊原左八郎によって、現在の社殿が建造されました。佐八郎は

阿蘇神社の桜門、八代宮の神殿・拝殿、菊池神社など、県下各地で多くの著名な神社を手掛けた人物。一門を率いて、長崎・福岡・鹿児島など各地の神社仏閣も建立しました。

波多神社の拝殿と神殿の前面・側面・後面には、飛龍・牡丹・流雲・波などを浮き彫りにした非常に緻密な彫刻が施されています。これらの彫刻は、安土桃山時代の様式にのっとった力作です。

名工の“のみ”の跡が、162年経った今もなお、その華麗さを留めています。ぜひ、これらの彫刻を見に出掛けてみませんか。



所在地 三角町波多2427-1